

# atelier oi

Architect, Designer

Observing tradition more carefully  
equals seeing the future more profoundly.

**What kind of relationship do the three of you have in terms of handling work?**

**Aurel Aebi:** We all have different personalities, qualities, and backgrounds. I'm from a German speaking region in Switzerland, but Patrick and Armand grew up in a French speaking culture, and Armand also speaks Italian. So we have the advantage of being unbalanced as a group. For example, when two of us bring in completely opposing ideas, it's often the case that the direction is decided easily by the third person's opinion. Since we all have different approaches to design as well, the standpoint of each changes according to the project. Energy is generated because there is difference. It's the same principle as generating electricity.

Another thing we value is to share ideas. The staff we share ideas with has increased in the past 25 years from three to 30 as well. Things and events become smaller the more they are fragmented. But if we share them, they become as large as the number of people involved.

**We hear you often expand your ideas from materials, but how is that process actually done?**

**Patrick Reymond:** When we handle materials, we're like chefs. We first taste the ingredients. We then think about the compatibility of each material with others and devise ways to get just the right blend and processing methods. We then move on to complete the dish while being conscious of the context. We taste the dish and at times make use of it in the next recipe.

**Aurel:** Our studio is divided into a number of spaces, and in one of them we have a materials library we call Materiothèque. It's stocked with approximately 20,000 kinds of materials.

**Does the word "scenography" mean expressions that use space? How is it different from an installation?**

**Patrick:** The word "scenography" is used in stage art and

3人はデザイナーとして、どのような関係で仕事に取り組んでいるのですか。

**オーレル・エビ** 私たちは性格も違うし、資質やバックグラウンドも異なっています。私はスイスのドイツ語圏出身ですが、パトリックとアルマンはフランス語圏の文化で育ち、アルマンはイタリア語も話します。そんな私たちには、バランスが取れていないというメリットがあります。例えば、ふたりが正反対のアイデアを持ち寄ったとき、もうひとりの意見によって簡単に方向性が決まることがあります。釣り合った天秤のどちらかに重りを載せるようなものです。またデザインのアプローチにも違いがあるので、3人の立場はプロジェクトごとに変化します。差があるからエネルギーが生まれる。電気が生まれる原理と同じです。

**パトリック・レイモン** 立場の変化については、ジャズ・トリオの即興演奏に近いかもしれません。隣のプレイヤーの音を聴きながら、次に自分がプレイするか、次も彼に任せるか、場面ごとに判断します。

**オーレル** 私たちがもうひとつ重視してきたのは、アイデアを分かち合うことです。そして分かち合うスタッフは、25年間で3人から30人へと増えました。物事は、細分化すればするほど小さくなる。しかし分かち合うと、関わる人の数だけ大きくなるのです。

**アトリエ・オイのデザインは、素材からアイデアを膨らませていくことが多いと言います。そのプロセスは、実際にはどのように進んでいくのでしょうか。**

**パトリック** 素材を手にしたときの私たちは、料理人にたとえることができます。まず素材の味見をする。そして他の素材との相性を考える。ちょうどいい調合や加工法を工夫する。さらにコンテキストを意識しながら一皿を仕上げていきます。完成した料理を味わって、次のレシピに生かしていくこともあります。

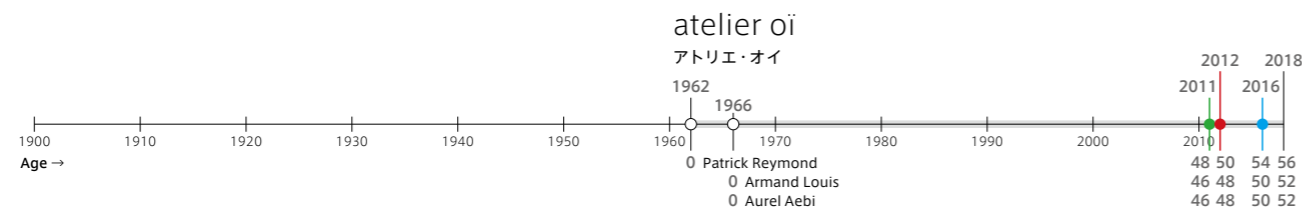
**オーレル** 私たちのスタジオはいくつものスペースに分かれていて、その中にマテリオテックと呼ぶ素材のライブラリーがあります。ここには約2万種類の素材がストックしており、日常的に手にすることができます。

より深く伝統を見ることは、  
より深く未来を見ることと同じ。

アトリエ・オイ 建築家、デザイナー



2016



● 2016

**atelier oi** Established in La Neuveville, Bern, Switzerland in 1991 by Patrick Reymond (born 1962, left in the photo), Armand Louis (1966, center in the photo), and Aurel Aebi (1966), all from Switzerland. Characterized by the diverse style and breadth of domain they handle while making use of their different backgrounds, atelier oi designs furniture, interiors, architecture, scenography, and more. They are active on various fields with clients including Foscarini, Louis Vuitton, Moroso, Rimowa etc. Recent activity includes the topical Casa Gifu made jointly with a Gifu manufacturer and unveiled in Milan.

**アトリエ・オイ** スイス出身のパトリック・レイモン(1962年生まれ、写真左)、アルマン・ルイ(66年生まれ、写真中央)、オーレル・エビ(66年生まれ)が91年にスイスのベルン州ラ・ヌーヴヴィルに設立。異なるバックグラウンドを生かした多様な作風と手がける領域の広さを特徴とし、家具、インテリア、建築、シノグラフィなどをデザインする。フォスカリーニ、ルイ・ヴィトン、モローゾ、B&Bイタリア、アルテミデなどに家具・照明デザインを提供するほか、リモアやUSMなどの空間デザインも手がける。最近の活動では、岐阜県のメーカーとの協働で開発した一連の製品をミラノサローネで発表した「CASA GIFU」が話題となる。



2011 ● Oiphorique  
オイフォーリック

「アレグロ」や「ダンサー」をシノグラフィと呼んでいますが、この言葉は空間を使った表現のことでしょうか。

**パトリック** シノグラフィは、舞台美術やミュージアムの展示空間について使われる言葉ですが、私たちは特定のテーマを伝えるための空間表現をそう呼んでいます。イン

museum exhibition space, but we use it as a form of expressing space to communicate a specific theme. There are elements that are common with an installation, but an installation represents more artistic expressions. We distinguish it from scenography that is designed to convey the theme more clearly to people.

**Armand Louis:** As an installation is an extremely pure expression, we sometimes condense our essence in it. We make use of the ideas and methods born there in our next scenography or product. It functions as a great hook in the sense of attracting people's interest too.

**You unveiled at Milan Furniture Fair a series of products developed with manufacturers in woodwork, washi (Japanese paper), and lanterns in Gifu Prefecture.**

**Patrick:** In the Gifu Prefecture project, we placed utmost importance on the local knowhow of making things in the area. What was most impressive in making things in Japan in addition to its culture was the fact handing down the knowhow itself has become part of the culture. Gifu Prefecture has knowhow in such materials as wood and paper that we can't even come close to. We visited production areas and observed the artisans' skills. We believe observing tradition more carefully equals seeing the future more profoundly, and if you want to encounter tradition, you should first meet people.

スタレーションと共通する要素もありますが、それはより芸術的な表現を意味するものと考えます。人々に明確にテーマを伝えるためにデザインするシノグラフィとは区別しています。

**アルマン・ルイ** インスタレーションは純度の高い表現であり、そこに私たちのエッセンスを凝縮させることもあります。そこで生まれたアイデアや手法を、次のシノグラフィやプロダクトに生かしていくのです。人々の興味を引きつけるという意味でも、大きなフックになります。

今年のミラノサローネでは、岐阜県の木工、和紙、提灯などのメーカーと開発した一連のプロダクトが発表されました。

**パトリック** 岐阜県でのプロジェクトで最も重視したのは、この地のものづくりのノウハウでした。日本のものづくりに特に印象深いのは、日本文化そのものに加え、それを継承することも文化になっていること。木や紙などの素材について、私たちが足元にも及ばないようなノウハウが、岐阜県にはいくつもあります。店舗デザインを手がけたリモワのスーツケースを観察するように、私たちは現地を訪れて職人の手業をじっくりと観察しました。より深く伝統を見ることは、より深く未来を見ることと同じだと思えますし、伝統に出会いたいのなら、まず人に会うことです。

**アルマン** 岐阜県にある日本刀の工場の主は26代目で、700年にわたるノウハウを受け継いでいるそうです。これは尊敬すべきこと。そのノウハウを私たちが生かすために、彼らの優れた文化をどう解釈し、自分たちの文化とどのように交差させるかを考えています。

現在はものづくりの枠を超え、サービスや社会的なシステムのように形を持たないものもデザインの領域になってきました。

**オーレル** 私たちが生きている世紀は、物事が根本的に変化している時代。いつか物質的なデザインと非物質的なデザインが逆転することはあり得るはず。現にUberはクルマを所有することなしに世界でいちばん大きいタクシー会社になっています。**アルマン** 私たちのデザインは、今のところ形のない領域にはありません。しかし社会的な要素は、形をつくるデザインにも確実に含まれています。社会が急速に変化するなかで、人がハッと立ち止まるものをつくるのも、そのひとつではないかと思っています。



2016 ● Honminoshi Garden (Spiral Garden)  
本美濃紙ガーデン (スパイラルガーデン)  
Photo by Ooki Jingu